



仕事と介護の両立

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う予防措置により、介護サービスにおいても多くの事業所で事業の縮小や休業などの影響が出ている。こうしたなか、自宅でケアをしている人の負担の軽減措置が一層求められている。働きながら介護を続けるには、どのような取り組みを進めていくべきなのか。JILPTの労働政策フォーラムでの議論などから、コロナ禍での仕事と介護の両立に必要な支援策を考える。

労働政策フォーラム

仕事と介護の両立支援

介護を理由とする離職者は年10万人ほど存在する。仕事と介護を両立させるために企業と労働者は何をすべきなのか。2020年9月2日にZoomウェビナーでオンライン開催した労働政策フォーラムでは、介護離職や家族介護者の就業実態等に関する最新の調査結果や企業等の事例報告をもとに、新型コロナウイルスによる影響も含め、両立支援をめぐる課題について話し合った。

